

章	No	外部評価委員のコメント	外部評価委員 (敬略)	回答	回答(対応)者	根拠となる資料
1	1	大学の理念・目的にそって学部、学科、研究科等が構成されているとともに、これらが統一的に様々な方法で公表、周知されています。わが国や地域を支える重要な人材養成をめざすという視点は明瞭です。	高田邦昭	ホームページ、学生募集要項、大学案内、「健大通信」など、ステークホルダーが目にする媒体において定期的に見直しをするなどして、適切に表現されているかをチェックしていきたいと思います。また、新しい媒体(SNS等)についても管理できる範囲で増やしていきたいと考えております。	入試広報センター 総務部総務課	特になし
1	2	公表のあり方について、更に検討してもらいたい。	村山元展	ホームページ、学生募集要項、大学案内、「健大通信」など、ステークホルダーが目にする媒体において定期的に見直しをするなどして、適切に表現されているかをチェックしていきたいと思います。また、新しい媒体(SNS等)についても管理できる範囲で増やしていきたいと考えております。	入試広報センター 総務部総務課	特になし
1	3	問題点でも指摘されているが、「人材養成の目的」がホームページ上での閲覧が難しい(公表情報の中に掲載)。大学の理念・目的、学部学科の3つのポリシーと合わせて、一覧できるように整備することが望まれる。	村山元展	3つのポリシー、人材養成の目的、教育目標といった学外に公表する項目を整理し、見やすい配置にしたいと思います。	入試広報センター 情報システム管理課 総務部総務課	改修後のホームページ参照 (4月以降予定)
1	4	大学の理念・目的、学部学科の3つのポリシーと合わせて、「人材養成の目的」を在学生のみならず高校や受験生、その保護者への情報発信が重要であり、大学案内や募集要項等に掲載する必要があると思われる。	村山元展	ステークホルダーが目にする媒体には分かりやすく情報発信していく所存です。大学案内や募集要項に掲載するスペースを確保できるよう、関係者で検討してまいります。	入試広報センター	改修後のホームページ参照 (4月以降予定)
1	5	理念・目標が明確であることは強みである。その延長において、全学一致の推進体制の成果に期待したい。	小出秀文	理念・目標に加え、健大精神も引き続き全教職員、全学生に周知しつつ、全学的に実施する案件の推進など学長のリーダーシップを発揮して取り組んでまいります。	学長	特になし
1	6	大学の理念・目的については、適切に設定され、学部・研究科の目的についても適切に設定されている。私立学校の建学の精神については、時代の変化・進展に対応してその点検・見直しが図られるべきであろう。貴学も80年余の歴史を誇る私立学校である。創設時の建学の精神が大学の理念・目的に継承され一層発展的に設定、全学教職員に共有されるよう努めている姿勢を評価したい。 教育方針については、ホームページで明示され、学生・受験生・地域の方など様々なステークホルダーに分かりやすいものとなっている。他方、人材養成の目的については、認識されている通り、当該ページにたどりつくことが難しいので、学生・教育でさらなる共有が図られるよう、改善等に期待したい。	小出秀文	3つのポリシー、人材養成の目的、教育目標といった学外に公表する項目を整理し、見やすい配置にしたいと思います。	入試広報センター 情報システム管理課 総務部総務課	改修後のホームページ参照 (4月以降予定)
2	1	内部質保証の体制はしっかりと構築されている。PDCAサイクルの実行性、アセスメントの更なる検討が必要。	村山元展	アセスメント・ポリシーの見直し、PDCAサイクルの実行性など内部質保証を推進する大学運営協議会を機能させていきます。	学長 総務部総務課 FD・自己点検委員会	特になし
2	2	質保証に関する全学的体制は示されているが、トップダウン的な印象が強く、教職員の主体的参加、取り組みが見えてこない。PDCAサイクルにおける教職員の取り組みがわかるようにしてもらいたい。	村山元展	例えば、学生教育、特に国家試験対策は、毎年の結果をアセスメントして、新たな指導体制の下で実施しております。これは教員主導の取り組みであり、またPDCAサイクルの明確な実行でもあります。引き続き教職員の主体的な取り組みなどを可視化できるように検討したいと思います。	学長 総務部総務課 FD・自己点検委員会	特になし
2	3	平成29年度のアセスメントチェック表で、特にDPのアセスメント指標の妥当性について、説得力のあるものへと、更に検討をすすめてもらいたい。	村山元展	ご指摘のとおり、DPのチェックとしてはやや弱い指標となっております。関係者としてもさらなる指標開発に注力してまいります。また、指標のみならず、必要とあらばDPそのものの見直しにも着手したいと思います。	学長 FD・自己点検委員会 全学教務委員会	特になし
2	4	大学全般の内部質保証に関しては、「高崎健康福祉大学内部質保証に関する規程」が整備されています。一方で、各委員会や各部署から上がってきたものは、FD・自己点検評価委員会が統括して点検・評価業務をおこないます。そして、大学運営協議会がそれらの結果を一義的に確認し所要の措置をとる組織となっています。「高崎健康福祉大学運営協議会規程」では、第4条で内部質保証をその審議事項として明確に規定しています。教学系と事務系の責任ある者がメンバーとなるこの会議での審議を通じて大学としての最終的な内部質保証をおこなう体制は、適切な体制であると思われま。	高田邦昭	本学の中心的な「大学運営協議会」に教学・事務それぞれのデータが集約されることは大学としても必要なことであると考えております。その上でどこまで各組織に向けた提言ができるか、この点を今後も課題として常に検討していきたいと思ひます。	学長 総務部総務課 FD・自己点検委員会	特になし

章	No	外部評価委員のコメント	外部評価委員 (敬略)	回答	回答 (対応) 者	根拠となる資料
2	5	大学運営協議会は、大学内におけるほとんどの重要事項を審議する組織であり、その審議事項には、例えば、教学マネジメント体制に係る事項などをはじめ、大学での内部質保証に直結する事案があります。FD・自己点検評価委員会が統括しておこなう評価業務のなかに、大学運営協議会の活動が入るのかどうかは不明ですが、大学運営協議会自体の内部質保証につながる評価をどのようにしているかが明瞭でありませぬ(学校法人の理事会も関係するのでしょうか)。また、内部質保証においては、責任体制を明らかにしておくことは重要なので、自己評価書にも記載があるように、さらに規程類等の整備が期待されます。	高田邦昭	ご指摘のとおり、内部質保証の全学的推進組織である「大学運営協議会」の内部質保証についてはどのようにするのかを明文化しておりませんでした。大学運営協議会において協議し、内部質保証の中に当該協議会を加えることで(セルフジャッジまたは学長による評価)、対応したいと思います。	学長 大学運営協議会 FD・自己点検委員会	特になし
2	6	大学としての内部質保証は、一義的には大学が社会へ送り出す人材(学士、修士、博士)の質保証です。国家試験をはじめとする公的資格の取得はこの中の一環である点は、(この中で、非常に大きな割合を占めるとはいえ、)常に留意する必要があります。国家試験等の合格率を指標とした質保証の上に、学士教育プログラムとしての観点からの質保証をおこなうことが大切です。	高田邦昭	ご指摘の通り、国家資格等の取得状況・合格率は本学教育プログラムの成果を語る一部であり、全部ではございません。もう一つの指標として「卒業時アンケート」があります。いずれにせよ「自利利他」の精神の学生への浸透度合だと思います。引き続き本学での教育プログラムにおけるPDCAサイクルなどを通じ、教育成果の指標開発に心掛けてまいります。また、教学マネジメントに関しても同様に進め、学修者の学修成果の可視化、大学、授業レベルでの教育成果など公表できるデータ等今後も揃えて公表の準備を進めてまいります。	学長 大学運営協議会 FD・自己点検委員会 全学教務委員会	特になし
2	7	問題点の整理は的確である。指摘の方向での改善努力を期待する。大学基準協会等の第三者機関の評価を改革の活力とすべきと考える。	小出秀文	ご指摘のとおり、本学での事務組織の課題等引き続き改善に向けて検討したいと思います。また、認証評価機関の指摘事項などを改革の目標等に掲げるなど更なる改善に全学的に取り組む所存です。	学長 大学運営協議会 FD・自己点検委員会	特になし
2	8	内部質保証を推進するにあたり、学内規程や組織体制の整備は確立されていると考えられる。なお、その際、「大学運営協議会」に機能集中・指令塔の役割が期待されていると考えられるが、全学的方針に対する点検評価、改善策の提案まで機能している結果が見えない。今後、大学運営協議会が、「FD・自己点検委員会」をはじめとする各種委員会と連携し、エビデンスに基づく全学的な内部質保証システムが構築されることに期待したい。	小出秀文	ご指摘のとおり、大学運営協議会が内部質保証の責任主体であると本学では明文化しておりますが、すべての案件に対する細かな指摘までに対応する必要を考慮すると、他の部署や委員会等連携する形で乗り越えていくことが必要であると考えます。事務組織の件も含め、検討してまいります。	学長 大学運営協議会 FD・自己点検委員会	特になし
3	1	教育研究組織はかなり充実している。	村山元展	既にある組織に満足することなく、学生の意見やステークホルダーの意見をふまえ、改善に努めてまいります。	学長	特になし
3	2	学生の海外研修参加者が73人となっているが、全学生数に比して、少ないように思われる。今後の方向、支援のあり方について示してもらいたい。	村山元展	海外研修は国際交流センターが中心となり、海外協定校への派遣、協定校からの受入れプログラムを構築しています。平成29年度の派遣者数は73名、30年度87名、31年度89名と全学生数に比すると少ないながらも参加学生数を伸ばしてきており、加えて、毎年50名ほどの海外学生受入れも行って、多くの本学学生が文化を異にする学生、しかし同じ学問分野を学ぶ学生との交流経験を持てるよう図っています。外部の公的補助資金の獲得や学内奨学金等の運用により学生を経済面でサポートしてはおりますが、学生には金銭的な問題が大きいのしかかっています。また長期休暇中は学外実習を実施する学科が多いことも、参加者数が思うように増加しない一因となっています。健康医療福祉分野を学ぶ学生の国際化は喫緊の課題と捉えていますので、全教職員の協力のもと学内支援体制の強化に努めてゆく所存です。また新たな補助金の獲得も模索していきたいと思っています。	国際交流センター 教育学部	国際交流資料
3	3	大学の理念・目的にそって農学部設置の準備を進めている点は高く評価されます。スムーズな開設と運営を期待します。また、大学の目的を達成するため、種々の研究所、センターや訪問看護ステーションが有機的に設置されていて活動している点は評価されます。	高田邦昭	平成31年度(令和元年度)に無事に農学部が開設されました。新たに加わった教員と1期生となった99名の学生がこれから農学部を命を吹き込んでまいります。また、関連する研究所、センター、訪問看護ステーションも今後有機的な連携を企画してまいります。なお、新たな研究所の設置の必要性があるのか感じております。	学長	特になし
3	4	質的充実を目指した学部・研究科の組織に加え、多彩な附置施設の開設は評価できる。一層の有機的な連携強化を期待したい。	小出秀文	平成31年度(令和元年度)に無事に農学部が開設されました。新たに加わった教員と1期生となった99名の学生がこれから農学部を命を吹き込んでまいります。また、関連する研究所、センター、訪問看護ステーションも今後有機的な連携を企画してまいります。	学長	特になし
4	1	資格試験等をふまえ、教育課程は充実している。今後はCAP制の実質化、教育活動の活性化、大学院教育の充実を求めたい。	村山元展	ご指摘のとおり、資格取得に向けた本学学科教員、専攻教員のため努力と、所属する学生の資格取得に対する熱意で現在の合格率、資格取得が叶っております。今後は資格養成校としての側面と大学・大学院としての高等教育機関の両立、特に研究面の充実に向けて、学生支援・学生指導を更に改善してまいります。	学長 全学教務委員会	特になし

章	No	外部評価委員のコメント	外部評価委員 (敬略)	回答	回答 (対応) 者	根拠となる資料
4	2	CAP制について、前後期ごとの上限単位数は示されているが、1年間の上限単位数が示されていない。資格試験等の必要性から、年間50単位を超える場合にはその説明が必要である。	村山元展	現在は一部資格取得を目指す学科に限って半期当たり24単位以上履修できる状態になっております。また、GPAの数値が3.0以上の学生については、半期当たり4単位分超過を認める仕組みも取り入れました。一方、GPAの数値が1.5未満の学生については20単位までのCAPにすることもできるようになっておりますが、(面談結果によっては通常通り)、CAPの上限については年間50単位と明記できない状態となっております。今後、ご指摘のとおり明記したうえで個別対応を認めている表現に変更可能か、各部署で検討の上取り組んでまいります。	全学教務委員会	履修規程、GPA内規 等
4	3	外国人留学生の受け入れに積極的に取り組むとしているが、その受け入れ方針、支援体制を示す必要がある。	村山元展	現在、国費留学生が大学院に1名、私費留学生が学部で2名在籍しておりますが、外国人留学生は非常に少ない状態です。これは国家試験を控えている学部の特徴上、留学生を入学させるのは困難を伴うという事情によるものですが、今後の受入れ促進に向けて、方針や支援体制を広く示す必要があるというご指摘のとおりです。経済的支援として、授業料の減免、学内奨学金の優先的支給(外国人留学生用募集要項参照)。国際交流センターによる日本語支援(日本語教員の資格保有者有)、生活支援。学習支援センターによる基礎科目支援など、主な支援体制をこれから明示したいと存じます。受入れ方針については、今後公表できるよう関係者間で協議いたします。	国際交流センター 教育学部	特になし
4	4	平成26年に薬学教育研究推進センター、学部独自の「学習支援センター」を設けるなど努力をしているが、薬剤師国家試験合格者率の安定化が望まれる。	村山元展	ご指摘のとおり、薬学部は国家資格合格で安定していない状況にありますが、近年は80%台で推移しており、安定しつつあると言えます。今後も低学年から国家試験を意識したプログラムを取り入れるなど、引き続き高い合格率に安定するべく教職員一同努めてまいります。	学長 薬学部長	国家試験合格率 経年比較
4	5	学習支援センターでリメディアル教育を開講している点は、大学教育を充実したものとするためのものとして、評価できます。このリメディアル教育と、学士プログラム(学部教育)との関係はどうなっているのでしょうか。仮にリメディアル教育に対して単位を出す場合は、卒業認定(学士号認定)のための単位とは別になっているのでしょうか。	高田邦昭	現在学習支援センターで行っているリメディアル教育においては、単位付与はしていません。学部教育を支援するために個別にリメディアル教育を実施するのが一般的活動です。ただし、特定の授業科目と連携して、必要とする学生グループに補講を実施し、彼らがスムーズに単位修得できるようサポートしているケースもあります(医療情報学科「数学基礎」、健康栄養学科「化学」、薬学科「化学基礎」など)。新たに開設しました農学部では、リメディアル教育に単位を授与する方向ですが、卒業要件には組み込んでおりません。	教育学部 農学部	農学部カリキュラム 学習支援センター 実施報告
4	6	大学院での学位授与に関しては、各専攻単位(教育プログラム)ごとに、具体的な評価基準、審査過程の透明化が必要です。これらについて、大学としてより統一のとれたものがあると良いでしょう。	高田邦昭	ご指摘の通りです。しかしながら学際分野の違いから、学位論文の提出に関する要件など、統一は不可能な部分もございます。したがって、各学位プログラム単位での必要な取り組みは認めつつ、大学院全体としての統一部分(学位記授与式、学位論文発表会の実施等)はすり合わせて実施しております。	教育学部	特になし
4	7	薬学部について、学位授与率が低く(資料の平均66.5%は何を示しているのでしょうか)さらに経年的に9月卒業率を出しています。共用試験では全国と比較しても良好な成績を取っている点も考慮すると、6年間の教育プログラム全般、さらにはAP、CP、DPを通じての再点検が必要なのかもしれません。	高田邦昭	ご指摘の通りです。平均66.5%は入学した学生のストレート学位授与率を示しております。共用試験の合格率が活かされていないことを踏まえて全般的な見直しを進めてまいります。	薬学部長	薬学部国家試験合格率推移
4	8	資料4-53 薬剤師国家試験合格ロードマップ(国家試験対策試験予定表)では、卒業実習関連試験1, 2, 3が卒業のための関門として大きく位置付けられているように見えます。この点については、学位プログラムの中で、評価過程、卒業判定の基準として明確に示されているのでしょうか。また、DPとの関係で、CPやシラバス等の中で適切に位置付けられているのでしょうか。	高田邦昭	ご指摘の通り、ロードマップでは卒業に向けた準備の中で国家試験受験を意識したハードルを設けております。当然現役受験、現役合格を目指す関係から、学生には入学時よりその必要性を繰り返し説明しております。しかしながら、なお不十分な点があったことから、現在は、シラバス中に評価過程、卒業判定の基準を明記いたしました。	薬学部長	薬学部国家試験合格率推移、 2019年度シラバス「薬学総合演習Ⅲ」
4	9	単位の実質化のために、シラバスにおいて、実際の授業時間とともに、予習、復習のために必要な時間が記載されている点は高く評価されます。各科目では、授業時間に対する自修時間の割合はシラバス上では個々の授業ごとに変動が見られます。授業時間と自修時間の関係は大学設置基準に基づいて学則で定められていますが、その時間には一定の幅があります(例えば、学則第23条では「講義・演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位」)。これが、実際はどの様に運用される(例えば、講義では15時間の授業、演習では30時間の授業等での運用等)、それがどの様にシラバスに反映されているのでしょうか。	高田邦昭	ご指摘のとおり、シラバス内に具体的に予習・復習の時間を記載しております。これにより、学生は当該授業の予習・復習にどれだけの時間の準備が必要なのかを把握できるようになっております。学則内に記載のある15時間から30時間とは、資格養成校として定められている指定科目の対応から幅を持たせております。それぞれの科目のシラバスにおいてその時間を意識した記載となっております。記載時間については毎年シラバス作成依頼時にガイドラインを用いて教員へ周知しており、学科内第3者チェックも実施しております。今後も記載内容についてはチェックを行い記載してまいります。	全学教務委員会	シラバス作成ガイドライン 第3者チェック表 等
4	10	社会人の大学院生は今後も増えると予測されます。大学院授業のスケジュールについては夜間や休日の開講については、働き方改革が進む中で、教職員の労働環境も考慮しながら最適なもの整備出来ると良いでしょう。	高田邦昭	大学院学則第8条により、大学院設置基準第14条特例の対応が可能です。ご指摘のとおり社会人対応となると夜間・休日の出勤が必要となり、機能面からも一定数の教職員の出勤が必要です。今後は入学することになった社会人学生の要望や本学教職員の労働環境など鑑み、対応を検討してまいります。	事務局長	大学院学則

章	No	外部評価委員のコメント	外部評価委員 (敬略)	回答	回答 (対応) 者	根拠となる資料
4	11	コアカリキュラム・シラバス・オフィスアワー等の設定や充実した初年次教育の展開については、実質的取組であると考えとともに、私学教育への熱い情熱を感じており、私学教育の誇りである。大いに貴学の研究活動・教育の高度化に資すると期待する。	小出秀文	本学のシラバスは毎年バージョンアップをしており、学生に分かりやすいシラバスを心掛けております。また、初年次教育では離学未然防止の意味も込め、できるだけ早く大学になじんでもらうことを心掛けて実施しております。学生に目標達成をしてもらうべく、これら不断の努力を持って教職員一同努めております。熱意を感じていただけて大変感謝しております。今後も努めてまいります。	教育学部	シラバス作成ガイドライン 第3者チェック表 等
5	1	推薦入試の学力把握措置の検討をすすめるとともに、収容定員管理の適切化が必要である。また社会人に開かれた大学院をすすめてもらいたい。	村山元展	ご指摘のとおり、現在学力把握の「基礎学力調査」を実施しているのは薬学部のみです。他学科は調査書や小論文からの把握となり、APとの関連も検討する必要があります。また、収容定員管理については、歩留まりなど一般入試で読み切れない部分もあり、やや超過傾向ではありますが、今後適切な超過率にとどめるべく注意いたします。また、大学院は社会人向けにも入試制度を設けている専攻もあり、今後それら仕組みをしっかりと広報していきたいと思っております。	入試広報センター	特になし
5	2	問題点の中に推薦入試の「学力把握措置」について、今後検討が必要と結んでいるが、是非具体的検討をすすめて頂きたい。	村山元展	上記のとおり薬学部のみ基礎学力調査を実施しており、今後他学科でも採用できるか、検討していきたいと思っております。具体的な措置としては、入試改革も近いため、できるだけ早く公表してまいります。	入試広報センター	特になし
5	3	大学院受験生確保に関連して、今後は特に医療・福祉系の社会人の高度専門職人材へのスキルアップの場として、大学院の重要性が増すものと考えているが、こうしたことへの方針があれば示してほしい。	村山元展	ご指摘の通り、今後の医療・福祉分野における高度化や多様化の進展から高度専門職人材に対する大学院の役割は増すものと考えております。本学では、例えば健康福祉学研究所保健福祉学専攻、保健医療学研究所看護学専攻では行政や民間機関の専門職を対象として高度専門職職業人の養成を人材養成の一つに掲げております。これまで、薬学研究所を含めて各専攻には社会人の入学が認められております。	学長 大学院各研究科	特になし
5	4	収容定員充足率が大学全体及び学部においても1.02～1.16に管理されているとあるが、入学者定員充足率では1.20を超える学科もあり、適切な定員管理が求められる。	村山元展	入学定員超過率については、ご指摘のとおり一部学科において超過気味となっております。推薦入試における合格者数など年度によって超過している理由は異なりますが、定員管理に努めてまいります。	入試広報センター	入学定員超過率
5	5	大部分の募集単位において、ほぼ適切に学生の受け入れが行われています。ただ、大学院については、定員充足が不十分な専攻が見られます。大学の活力を維持発展させていく上で、また今後予想される専門職者の高度化を考えると、大学院を持つ意味はたいへん大きいと思われる。引き続き、大学院の活性化に期待します。	高田邦昭	ご指摘の通り、大学院の一部専攻においては、入学者の維持が課題となっております。年度によっては0名となることもあり、定期的な入学者数確保を今後課題として各専攻で取り組んでいきます。学内進学者への優遇措置など講じておりますが、在学生に周知すべく公表してまいります。社会人受け入れについても、専門職に対する広報を強化してまいります。	大学院各研究科 各専攻	特になし
5	6	薬剤師国家試験合格率の向上と安定が求められているが、入試において基礎学力試験ではなく資格検定試験を合否判定に用いるとしているが、問題はないのか。	村山元展	ご指摘の通り、入試において資格検定試験(英語のみ)の結果を得点として換算することが可能となっております。ただし、本学独自の「英語」の試験も同時に受験可能で、受験した場合、どちらか高得点の点数で合否判定を行います。現在のところ、両方を受験した者の両試験の成績には、高い相関が認められています。これらの本学独自の「英語」・資格検定試験(英語)の選択と、ご指摘の薬剤師国家試験合否との直接的な関連は少ないと考えていますが、今後も注視してまいります。	入試広報センター	特になし
5	7	少子化状況下、定員充足の成果を高く評価する。高大接続の実質が確保されている。今後は、かかる状況の「公表」についても広報という視点から検討してはいかがでしょうか。	小出秀文	入学定員超過率で一部定員管理を厳格にする必要がある学科もございますが、全ての学科で入学定員を確保しております。各学科の入学・収容定員状況については、すでにホームページ上で公開しております。今後更なる広報への展開など検討してまいります。	入試広報センター	ホームページ参照
6	1	教員の年齢構成バランスへの配慮が必要である。教員評価が教員の意欲に結びつくよう、活用してもらいたい。	村山元展	年齢構成バランスは一部の学科で偏りがありますが、総じてバランスが悪いわけではございませんので、引き続き偏りをなくす形で教員編成を検討してまいります。また、教員評価については本学のシステムを学部・学科教員が理解し、その評価を受けて更なる教育・研究への情熱を宿すきっかけとなるべく実施しております。今後も教員のモチベーションアップに努めてまいります。なお、令和元年度にベストティーチャー賞を設け、本年度3名の表彰を行いました。	総務部 教育学部	表彰の様子 (本学ホームページ)
6	2	大学設置基準で義務化されたFDの実施では、継続して授業の内容及び方法等の改善を図ることが期待されています。FDは年に2回開催されていて、出欠を把握するとともに、欠席者についてはビデオを回覧していますが、教員のにとってFDに参加することは義務であることをより徹底することが望まれます。	高田邦昭	FD並びにSDについても、今後の教学マネジメントを意識した形で内容も実施方法も多様化してくると思われまします。しかしながら前提として、全教職員にSDの義務化、全教職員のFDは義務化という点は不変と思われましますので、引き続き教職員に対し高等教育の現状を意識する機会を作ってまいります。	学長 事務局長 総務部	特になし

章	No	外部評価委員のコメント	外部評価委員 (敬略)	回答	回答(対応)者	根拠となる資料
6	3	私学教育の原点は、本学を志向した学生諸君一人一人を人間形成・専門教育の習得をめざして、全学一致推進することにある。初任者教育、アドバイザー制度の導入については、評価できる。	小出秀文	本学学生においては、入学時に国家資格や免許といった具体的な目標がある分、学修計画やその過程においてぶれることはほとんどありません。しかしながら専門職に対する理解不足や自分が想像していたものと違うことで悩む学生も多々おります。本学ではアドバイザー制度により多くの学生を支援してまいりました。今後も卒業・学位取得・資格取得に向けた支援と、学生の将来に向けた支援を充実してまいります。	教育学部	特になし
7	1	特に学習支援が充実している。	村山元展	学習支援センターや学部独自の対応など、高校で修得していない教科のアシストから、苦手科目の克服、学修相談などきめ細やかな対応を心掛けております。今後も更なる支援ができるよう、努めてまいります。	教育学部	特になし
7	2	学生の定期健康診断への受診状況について示してもらいたい。また、受診率向上の対策等があれば示してもらいたい。	村山元展	学生については年度初めに指定する時間で本学併設の「健大クリニック」にて定期健康診断を受診してもらっております。特に学外実習でお世話になる医療機関、福祉施設では感染症に対する抗体価や予防接種証明など求められるため、本学学生の受診率は100%に近い状態です。一部日程が合わないなどの事情がある場合、6月末までに近隣の医療機関などで健康診断を受けていただく場合もございます。対策としては学業を続けるにあたり受診する必要があるということを示しております。学生も事情を理解しておりますので、特別困難なことはございません。	教育学部	定期健康診断実施結果
7	3	在学生の離学率をモニターしたうえで検証し、その低減にむけて努力している点は高く評価されます。数字的には、一部の専攻で高い値もありますが、専攻の在籍学生が少なく実数は1名なので、特段、問題はありませ	高田邦昭	昨今、経済的な理由により退学、除籍となる学生が増えております。また、精神的な疾患や、学費確保のために行うアルバイトが原因となって、学業の時間が確保できず、学修意欲を損ねるケースも増えております。本学では途中でリタイアをしてしまうきっかけがあればアドバイザー等が迅速に対応することで離学防止に一役買っている状態です。経済的支援も独自に実施しており、次年度からは高等教育就学支援新制度もあって、経済的事情から解放される学生が増えることを望むばかりです。	教育学部	特になし
7	4	豊かな自然の中で、実学教育志向の目的・意味を明らかにして学生一人一人の的確に向き合っていると評価できる。	小出秀文	今後も学生一人一人の夢の実現に向けて、支援体制を手厚くしてまいります。	教育学部	特になし
8	1	動物実験に関しては、社会への説明も含めて、引き続き透明化の推進が期待されます。	高田邦昭	新たに動物実験に関する規程を見直し、先般動物実験に関する審査を受審いたしました。また、実験でお世話になった動物の慰霊祭も定期的の実施しております。これからも適切な対応ができるよう、努めてまいります。	動物実験委員会 総務部	特になし
8	2	教員の研究環境改善の要望を聴取する場があるのか、示してもらいたい。	村山元展	教員には各自研究室があり、研究室に必要な備品等は本人の研究費で賄えるようになっています。授業における実験室、実習室に関する要望は学科単位で予算委員会などを通じて改善・改修について依頼できるようになっています。	総務部	特になし
8	3	学会活動についての記載、その成果公表等があっても良い。外部資金の導入について戦略的取組に期待したい。	小出秀文	平成31年度(令和元年度)に外部資金統括室を設置、大学全体の外部資金に関する取扱いを担っております。また、大学院FDとして全教員を対象に9月初旬には科研費取得に向けた学内研修講演会を実施、すでに科研費を取得した教員による申請に関する基本的な取扱いから、審査員に向けたアピールの仕方などノウハウを伝授する良い機会となっております。学会等での受賞の報告は本学ホームページのニュース&トピックスで公表しておりますが、専用のページを設けることも検討したいと思います。	総務部 情報システム管理課	特になし
9	1	教育・研究と結びついた社会連携・社会貢献に取り組んでおり、評価できる。	村山元展	本学のボランティア・市民活動支援センター、子ども・家族支援センターに代表されるように、社会貢献については非常に活発に活動しております。今後も更なる活動をご報告できるよう、努めてまいります。	総務部	特になし
9	2	大学の目的を達成するため機動的に、センターや訪問看護ステーションが設置され、各々が活発に活動している点は、学生教育の観点に加えて、社会連携・社会貢献の点からも高く評価されます。	高田邦昭	附属組織、センター等が学生の学びの機会を増やすきっかけを作っており、本学学生にとっては学びの環境は充実しつつあります。今後も地域との連携を視野に入れて、学生の学びの環境をより一層充実していくことに努めてまいります。	総務部	特になし
9	3	群馬県及び高崎市との協力・連携、特に高崎市との具体的な連携協力を期待したい。食と栄養、健康の諸課題は地方創生の中心課題で本学の果たす役割は大きい。地方創生としての先事例のあることを承知している。	小出秀文	群馬県内はコンソーシアムもなく、一昨年に前橋市でプラットフォームが形成されたくらいです。群馬県や高崎市、玉村町などは個別にセンターや教員が提携して実施している案件もございますが、プラットフォームのような形での実施はありません。今後、関係者で実施に向けた話し合いなど進めてまいります。	総務部	特になし
10 (1)	1	特段大きな問題は見当たりません。	高田邦昭	管理運営については、問題ないように細心の注意を払って実施しております。これからも努めてまいります。	総務部	特になし

章	No	外部評価委員のコメント	外部評価委員 (敬略)	回答	回答(対応)者	根拠となる資料
10 (1)	2	学長のリーダーシップのもとで、教職員が主体的に大学改革に参加できるよう努力をしてもらいたい。	村山元展	学長自ら指揮を執って行うこともありますが、基本としては各学部目標達成に向けた取り組みを尊重し、学部長にその指揮を預けて実施しております。当然学長の意思を尊重して学部長・研究科長は教育・研究活動の運営を司るため、教職員は主体的に運営に関わる状態です。これからの大学改革においても、学長の意思を受けてそれぞれの役割を果たすべく、主体的に関わる所存です。	学長 総務部	特になし
10 (1)	3	中期5カ年計画(予算・管理運営方針を含む)等に基づき、大学運営のための、組織体制・諸規程等を整備され、適切な大学運営に努めていることが見て取れる。財務は私学経営において中心命題である。健全経営のため最大の腐心が払われるべきである。	小出秀文	管理運営については、問題ないように細心の注意を払って実施しております。これからも努めてまいります。	総務部	特になし
10 (2)	1	特段大きな問題は見当たりません。	高田邦昭	管理運営については、問題ないように細心の注意を払って実施しております。これからも努めてまいります。	総務部	特になし
10 (2)	2	特にコメントはありません。	村山元展	管理運営については、問題ないように細心の注意を払って実施しております。これからも努めてまいります。	総務部	特になし
10 (2)	3	財務に係る5カ年計画が継続的に立てられており、財務書類から健全な財政運営がなされていると見て取れる。	小出秀文	管理運営については、問題ないように細心の注意を払って実施しております。これからも努めてまいります。	総務部	特になし